

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 自動車運転再開可能と判断された脳損傷者の特徴に関する検討

[当院研究責任者]

部署名；中央リハビリテーション部 作業療法室 氏名：久保田 純平

[研究の背景]

近年、生活の中で自動車の運転は生活の中でも重要なものの一つとなっています。そのため、脳梗塞・脳出血や頭部外傷など脳損傷を有する患者さんが再び安全に自動車を運転することは、その方の生活の質の面でも重要です。脳損傷を有する患者さんが安全に自動車を運転できるか評価する試みが広がっており、当院でも神経心理学的検査をはじめドライビングシュミレーターや実車での評価を行っています。

しかし、評価を受ける中でも運転再開が可能かどうか、判断が難しい方もいます。そうした中には、初回の評価では運転再開が困難だと判断されても、その後支援を継続することで運転再開可能と判断される方もみられます。しかし、こうした患者さんの特徴について検討されている研究は見られません。

[研究の目的]

そこで、初回の評価時には運転再開が困難だと判断され、その後支援を重ねることで運転再開可能と判断された方の特徴を、初回の評価で運転再開可能と判断された方、また運転再開が困難であると判断された方と比較し、今後自動車運転の再開を目指す患者さんに対する支援内容を検討することを目的とします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2015年10月から2020年2月までの間に当院で入院中、外来通院中に自動車運転の評価を行ったもののうち、脳梗塞・脳出血・くも膜下出血・頭部外傷と診断された患者さん

●研究期間：倫理委員会承認後から2022年2月末日まで

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：診断名、性別、年齢、発症からの期間、既往歴、服薬状況、脳画像、入院時・退院時のNIHSS・FIM・BI、病巣側、自動車運転評価として実施された神経心理

学的検査の結果、ドライビングシミュレーター検査の結果、実車運転評価の結果

●検体や情報の管理

研究に用いる情報はすべて当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、研究に用いる際には個人が特定できる情報を削除し、情報が個人と結び付けられない形で利用します。研究に関する情報については研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに特定できる情報は利用・公表いたしません。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 中央リハビリテーション部 作業療法室 氏名 久保田 純平

電話 0561-82-5101

FAX 0561-82-9139